

大和市教育委員会 3 月定例会

日 時 令和3年3月25日

午前10時00分

場 所 教育委員会室

1 開 会

2 会議時間の決定

3 前会会議録の承認

4 会議録署名委員の決定

5 教育長の報告

6 議 事

日程第1（議案第5号）大和市教育委員会が委嘱する非常勤特別職の設置等に関する規則の一部を改正する規則について

日程第2（議案第6号）大和市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について

日程第3（報告第1号）損害賠償に係る専決処分について

7 そ の 他

8 閉 会

議案第5号

大和市教育局が委嘱する非常勤特別職の設置等に関する規則の一部
を改正する規則について

大和市教育局が委嘱する非常勤特別職の設置等に関する規則の一部を改正する
規則について、審議願いたく提案する。

令和3年3月25日提出

大和市教育局

教育長 柿本隆夫

大和市教育委員会規則第 号

大和市教育委員会が委嘱する非常勤特別職の設置等に関する規則の一部を改正する規則

大和市教育委員会が委嘱する非常勤特別職の設置等に関する規則（平成20年大和市教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

別表に次のように加える。

教育相談アドバイザー	2人以内	青少年の健全な心身の発達及び教育の充実を図るため、教育相談に関する専門的かつ技術的な指導及び助言を行う。
------------	------	--

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

大和市教育委員会が委嘱する非常勤特別職の設置等に関する規則新旧対照表

(下線部分は、改正部分)

改正案		現行			
別表（第2条関係）		別表（第2条関係）			
職名	定数	設置目的及び主な職務	職名	定数	設置目的及び主な職務
略			略		
教育相談アドバイザー	2人以内	青少年の健全な心身の発達及び教育の充実に関する専門的かつ技術的な指導及び助言を行う。			

議案第6号

大和市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について

大和市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則について、審議願いたく提案する。

令和3年3月25日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本隆夫

大和市教育委員会規則第 号

大和市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法（昭和46年法律第77号。以下「給特法」という。）第7条第1項に規定する指針（以下単に「指針」という。）に基づき、大和市立学校の教育職員（以下単に「教育職員」という。）の業務量の適切な管理その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則における用語の意義は、次項に定めるもののほか、給特法で使用する用語の例による。

2 この規則において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 大和市立学校 大和市立の学校設置に関する条例（昭和39年大和市条例第5号）別表第1に定める小学校及び別表第2に定める中学校をいう。
- (2) 在校等時間 指針に規定する在校等時間をいう。
- (3) 所定の勤務時間 学校職員の勤務時間、休暇等に関する条例（昭和32年神奈川県条例第57号）第4条第1項に規定する休日以外の日における正規の勤務時間をいう。
- (4) 時間外在校等時間 1日の在校等時間から所定の勤務時間を除いた時間をいう。

(上限時間の原則)

第3条 大和市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、教育職員の業務量について、各教育職員の時間外在校等時間の合計時間を1か月について45時間及び1年について360時間の範囲内とするよう適切な管理を行うものとする。

(上限時間の特例)

第4条 前条の規定にかかわらず、児童生徒等に係る予見することのできない業務量の大幅な増加等に伴い、教育職員が一時的又は突発的に所定の勤務時間を超えて業務を行わざるを得ない場合には、教育委員会は、教育職員の業務量について、各教育職員の時間外在校等時間の合計時間に係る次の各号に掲げる要件をいずれも満たすものとするよう適切な管理を行うものとする。

- (1) 1か月の合計時間が100時間未満であること。
- (2) 1年の合計時間が720時間以内であること。
- (3) 1か月ごとに区分した各期間に当該各期間の直前の1か月、2か月、3か月、4か月及び5か月の期間を加えたそれぞれの期間における1か月当たりの平均時間が80時間を超えないこ

と。

(4) 1年のうち1か月の合計時間が45時間を超える月数が6月以内であること。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

報告第1号

損害賠償に係る専決処分について

大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和40年大和市教育委員会規則第1号）第2条第2項の規定により、別紙のとおり教育長が事務を臨時に代理したので、同条第3項の規定により承認を求める。

令和3年3月25日提出

大和市教育委員会

教育長 柿本 隆夫

印

令和3年3月19日

大和市長 大木 哲 殿

大和市教育局
教育長 柿本 隆



損害賠償に係る専決処分について (申出)

このことについて、地方自治法(昭和22年法律第67号)第180条第1項の規定及び市長の専決処分事項の指定について(昭和46年3月15日議決)に基づき、別添のとおり専決処分をしてくださるよう申し出します。

専 決 処 分 書

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により、次のとおり専決処分する。

本市は、次のとおり損害賠償の額を定める。

1 発生年度、賠償の相手方及び賠償金額

別記のとおり。

2 事案の概要

大和市就学援助に関する規則（平成20年大和市教育委員会規則第3号）第3条第1項の規定による審査において、別記の表発生年度の欄に掲げる年度に、それぞれ同表賠償の相手方の欄に掲げる者について、認定とすべきところ、非認定と決定したことにより、未支給の就学援助費に係る遅延損害金が発生した。

令和3年3月19日

大和市長 大 木 哲

発生年度、賠償の相手方及び賠償金額

	発生年度	賠償の相手方	賠償金額
1	平成27年度	市内在住者	17,257円
2	平成27年度	市内在住者	17,583円
3	平成27年度	市内在住者	16,634円
4	平成27年度	市内在住者	27,147円
5	平成28年度	市内在住者	14,326円
6	平成28年度	市内在住者	13,545円
7	平成28年度	市内在住者	13,545円
8	平成28年度	市外在住者	29,958円
9	平成28年度	市内在住者	22,162円
10	平成28年度	市内在住者	18,529円
11	平成28年度	市内在住者	29,952円
12	平成28年度	市内在住者	22,162円
13	平成28年度	市内在住者	29,958円
14	平成29年度	市内在住者	14,704円
15	平成29年度	市内在住者	6,861円
16	平成30年度	市内在住者	6,695円
17	平成30年度	市内在住者	11,174円
18	平成30年度	市内在住者	12,043円
19	平成30年度	市内在住者	7,325円
20	平成30年度	市内在住者	7,743円
21	平成30年度	市内在住者	7,325円
22	平成30年度	市内在住者	7,325円
23	平成30年度	市内在住者	4,739円
24	平成30年度	市内在住者	3,348円
25	平成30年度	市内在住者	4,654円
26	平成30年度	市内在住者	16,401円
27	平成30年度	市内在住者	16,570円

28	平成30年度	市内在住者	9,007円
29	平成30年度	市内在住者	9,007円
30	平成30年度	市内在住者	10,006円
31	令和元年度	市内在住者	7,519円
32	令和元年度	市内在住者	4,039円
33	令和元年度	市内在住者	4,039円
34	令和元年度	市内在住者	4,275円
35	令和元年度	市内在住者	4,039円
36	令和元年度	市内在住者	7,601円
37	令和元年度	市内在住者	4,039円
38	令和元年度	市内在住者	3,277円
39	令和元年度	市内在住者	5,751円
40	令和元年度	市内在住者	5,517円
41	令和元年度	市内在住者	3,542円
42	令和2年度	市内在住者	542円

令和2年度 訪問研修(防災研修)実施報告

令和3年3月
指導室

1. 実施したテーマ 「防災教育について」

※ 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、訪問研修は1本とした。

2. 研修のねらい

- ・改訂された大和市学校防災マニュアルにおける共通認識を持ち事例を通して課題解決力を向上させる。

3. 研修の内容 別紙参照

4. 受講者の感想等(一部抜粋)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、避難訓練等ができていないが、できる限り災害への備えをやっていかなければならないと感じました。
- ・子どもの登下校中での発災のことを改めて考えることができ、よかったです。
- ・災害はいつ起きてもおかしくないとわかっていながらも、他人ごとになっていたように反省しています。自分の担当以外のところもしっかり把握していきたいです。
- ・東日本大震災以降、子どもたちの意識も高くなっていると思います。薄れていかないよう、指導を続けていく必要があると思います。
- ・この中学校に異動してきてから、学区内の危険な場所の把握をしていなかったため改めて通勤時に学区の様子を見なければならぬと感じた。部活動中での危機管理も確認していきたい。
- ・前のマニュアルと違うことが、よくわかりました。
- ・スタンドパイプや食料の置いてある場所などを確認できてよかったです。
- ・スタンドパイプの設置場所、使用目的がわかりました。また、備蓄品がどこに置かれているのかも知り、自分がいかになにも知らなかったかが、わかりました。
- ・災害についての動きについては、頭に入っているものの、学区内での災害が起きた場合の細かい取り決めがあいまいだったと改めて感じました。
- ・学校の独自のマニュアルを作成する必要があるため、そのマニュアル作成見直しの際に大切なことについて、児童も教員も確認していきたい。
- ・災害が起きてから知るのでは、遅いことがわかったので、まずは自分の役割について確認しなければならぬと感じた。
- ・支援級担当として、災害時の子どもたちのケアや対応を常に確認していきたい。

5. 成果と課題

○成果

- ・市内全教職員に改定した大和市学校防災マニュアルを周知することができ、意識の向上につながった。
- ・各学校の防災マニュアル作成に向けて、具体的な話（防災備蓄、二次避難場所等）をすることができ、確認できた。

●課題

- ・1時間の研修では、伝えられることが限られているので、今後も継続して研修を行う必要がある。その際には、消防と協力しながら行いたい。
- ・経験の浅い先生が急増してくる中、いつ起こるかわからない災害に対しては、学校の体制を整えていく必要がある。

6. 令和3年度の訪問研修について

小中全28校において、2本の必修訪問研修と1本の選択研修を行う。

1本目 学力向上研修（必修）

- ・理解度調査の分析、新学習指導要領の進め方等をお話します。

2本目 防災研修（必修）

- ・スタンドパイプ等の使い方の実技研修を消防と一緒に行います。

3本目～選択研修

- ・学校の要望に合わせて研修を行います。

例)・理科訪問研修、情報教育研修講座（研究所指導主事による）

（研究所の指示に従って申し込んでください。）

- ・虐待防止ハンドブックに関する研修（青少年相談室指導主事による）

（青少年相談室の指示に従って申し込んでください。）

その他以下のような研修について指導室指導主事を派遣することができます。

- ・児童生徒対応 ・保護者対応 ・人権教育 ・国際理解教育

- ・インクルーシブ教育 ・年次研修の補習等

（組み合わせで行うこともでき、1名からの実施も可能とする）

防災教育について

大和市教育委員会指導室
安田 美香子

本日の研修

1. 学校防災マニュアル作成に向けて
2. 防災教育実施に向けて

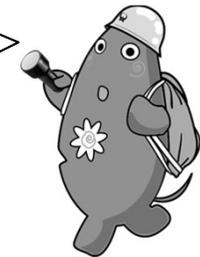
大和市学校防災マニュアル

令和元年度に大和市学校防災計画検討委員会を立ち上げ、1年間かけて、学校防災マニュアルの改訂、防災教育資料の作成をしてきました。



大和市学校防災マニュアル

内容は大きく分けて3つ！
＜地震編＞
＜風水害編＞
＜火災編＞



大和市学校防災マニュアル

<地震編>

震度5弱以上の地震が起きた場合（学校にいる時）

- ①授業中 ②休み時間 ③放課後
④一次避難場所（校庭）での対応

P 4～7



ここまでは、
ほぼ、市内の小中学校同じような対応になると考えられます。
大和市学校防災マニュアルを参考していただければと思います
が...

- ◎発災時の自分の役割分担をすぐに言えますか？
◎放課後事業との連携が取れるようになっていますか？

大和市学校防災マニュアル

P 8

<地震編>

その後、二次避難（広域避難場所への避難）をしなければなら
なくなった場合・・・

各学校によって避難場所・避難経路がかわってきます。

- ◎広域避難場所、避難経路は知っていますか？

大和市学校防災マニュアル

<地震編>

校外学習中に発災した場合

- ◎発災した時のことも考えて、下見をしていますか？
◎発災した時の役割分担が、細案等に示されていますか？

P 8～9

大和市学校防災マニュアル

P 9～10

<地震編>

登下校中に発災した場合

- ◎児童生徒の通学路の危険箇所を把握していますか？
◎どこまで行ったらどうするか、という避難の方法を子ども達
と共通理解していますか？

大和市学校防災マニュアル

P10

<地震編>

揺れがおさまった後の対応

大切!

学校でのあずかり保護

→保護者への引き渡しを優先とせず、学校で安全に預かることを優先とする。(ただし、保護者が来校し、希望する場合は引き渡しを行う)

大和市学校防災マニュアル

<地震編>

揺れがおさまった後の対応

学校でのあずかり保護

- ◎あずかり保護実施に向けて、防災備蓄をそろえる計画は立っていますか? → 後程詳しく
- ◎現在、防災備蓄がどこにどれ位あるか知っていますか?
- ◎保護者が希望した場合、引き渡し方法を知っていますか?

大和市学校防災マニュアル

P12~13

<地震編>

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合

→学校は基本的には平常授業を行う。

ただし、いつ何が起きてもいように準備をしなければいけません。

◎臨時情報を受けて、学校が毎日やるべきことを理解していますか?

大切!

大和市学校防災マニュアル

P14~15

<風水害編>

台風や大雨による危険が予測される場合

市内小中学校を「一斉臨時休業」(登校時刻を遅らせる、下校時刻を早めるなども含む)とするとき

- 当日午前5時頃気象庁が発表する警報のうち1つでも「大和市」に発令されていて、状況の改善が見込まれない。
- 小中校長会長と協議の上、教育委員会が決定する。

◎PSメールは市教委から出しますが、つながらなかった場合の連絡方法を保護者等と共通理解していますか?

大切!

大和市学校防災マニュアル

P 16~17

<火災編>

学校施設内を出火場所とする場合

- ①授業中 ②休み時間 ③放課後
- ④一次避難場所（校庭）での対応

ここまでは、
ほぼ、市内の小中学校同じような対応になると考えられます。
大和市学校防災マニュアルを参考していただければと思います
が...

◎火災発生時の自分の役割をすぐに言えますか？

大和市学校防災マニュアル

P 18

<火災編>

学区内で火災が発生し延焼が心配される場合

各学校によって避難場所・避難経路がかわってきます。

◎広域避難場所、避難経路は知っていますか？

大和市学校防災マニュアル

P 19~21

<防災備蓄等の指針>

学校の防災資器材等の保管場所、使用方法等の把握

- 児童生徒用の食料等については、当面3食分（1日分）の備蓄に努める。
→保管場所等については、今後教育委員会と検討していくこととなります。

○教職員の食料等は、3日分の備蓄に努める。

◎備蓄食料以外の防災資器材の保管場所を知っていますか？

大和市学校防災マニュアル

P 19~21

<防災備蓄等の指針>

学校の安全点検の実施

- 定期的に校舎の安全点検を実施し、危険箇所の把握、変化の様子を記録しておく。

○教室や職員室等で転倒のおそれのある物の転倒防止策を行う。

◎安全点検を行う際、防災の観点からも実施していますか？

大和市学校防災マニュアル

P 19~21

<防災備蓄等の指針>

地域の状況の把握

○通学路や学校立地の特徴を把握し、危険箇所等を地図上に示し、児童生徒や教職員に周知する。

○発災後、児童生徒が登校する際の教職員等の配置を検討しておく。

◎通学路の危険箇所を把握していますか？

防災教育実施に向けて

身に付けさせたい安全に関する資質・能力

○安全に関する教育の充実方策

児童生徒等が安全に関して主体的に行動する態度を身に付けるためには、**学校における安全教育の質・量の両面での充実が不可欠**である。このため、すべての学校において、学校安全計画に安全教育の目標を位置付け、これに基づいて、**カリキュラム・マネジメントの確立と主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の視点からの授業改善**により、**系統的・体系的で実践的な安全教育**を実施する。

防災教育計画作成上の留意点とポイント

防災教育のねらい

文部科学省「『生きる力』を育む防災教育の展開」より

- ア 自然災害等の現状、原因及び減災等についての理解を深め、現在および将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。（知識、思考、判断）
- イ 地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全確保をするための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。（危険予測、主体的な行動）
- ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。（社会貢献、支援者の基盤）

防災教育計画作成上の留意点とポイント

発達段階に応じた防災教育

中学校段階における防災教育の目標
 日常の備えや的確な判断のもと主体的に行動するとともに、地域の防災活動や災害時の助け合いの大切さを理解し、すすんで活動できる生徒

↑

小学校段階における防災教育の目標
 日常生活の様々な場面で発生する災害の危険を理解し、安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りできる児童

文部科学省「『生きる力』を育む防災教育の展開」より

防災教育計画作成上の留意点とポイント

防災教育推進上の留意点

- 自他の生命尊重
- 自然の二面性（恩恵と災害）、地域への愛着
- 環境教育、国際理解教育、道徳教育、キャリア教育等との関連
 ⇒自分の生き方を考えるきっかけ

↓

家庭や地域社会の関係機関・団体の理解や協力を得ながら、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動において、計画的・組織的に進めることが必要

文部科学省「『生きる力』を育む防災教育の展開」より

防災教育計画作成上の留意点とポイント

防災教育計画作成上のポイント

- 1 地域の実情の把握
 - ・ 地域の災害リスク
 - ・ 地域の特性（自然的環境、社会的環境）
 - ・ 地域住民・家庭の防災意識
 - ・ 災害発生時の地域住民の動き など
- 2 児童生徒の実態の把握
 - ・ 防災に関する知識や意識
 - ・ 避難に関わる判断・行動 など

↓

- 3 目標や身に付けさせたい資質・能力の設定
 - ・ 児童生徒や地域の実態を踏まえた目標の設定
 - ・ 児童生徒に身に付けさせたい資質・能力の設定

文部科学省「『生きる力』を育む防災教育の展開」より

防災教育計画作成上の留意点とポイント

- 4 学校教育活動全体を通じての計画
 - ・ 教科・領域、避難訓練などの有機的な関連付け
 ⇒防災管理との一体化
- 5 発達の段階に応じた教育計画（校種間連携）
- 6 障がいのある児童生徒について、個々の障がいの状態等に応じた指導内容・指導方法の工夫・配慮

「教科・領域」「避難訓練」「学校・地域行事」などの学習経験をつなぐ。その際、「核」となる学習や活動を設ける。

文部科学省「『生きる力』を育む防災教育の展開」より

防災教育計画作成上の留意点とポイント 防災教育計画作成上のポイント

- 7 児童生徒が課題意識を持ち、主体的に取り組む学習や活動の工夫
 - ・災害を自分事として捉えることのできる工夫
 - ・家庭や地域を巻き込んだ学習や活動
 - ・実践的な避難訓練
- 8 地域住民・家庭、関係機関等との連携
- 9 防災教育・防災管理に関する職員研修の実施
- 10 防災教育の評価の工夫、PDCAサイクルの実施

文部科学省「『生きる力』を育む防災教育の展開」より

防災教育資料 「もしも・・・自然災害が起こったら」

もしも・・・

しぜんさいがい お
自然災害が起こったら。

しょうがくせい しょうがくせい
小学校1・2・3年生用。

(保護者の方も一緒にお読みください。)



大和市立 小学校
()年()組 名前()

もしも・・・

しぜんさいがい お
自然災害が起こったら。

しょうがくせい しょうがくせい
小学校4・5・6年生用。

(保護者の方もいっしょにお読みください。)



大和市立 小学校
()年()組 名前()

もしも・・・

しぜんさいがい お
自然災害が起こったら。

ちゅうがくせい
中学生用。

(保護者の方も一緒にお読みください。)



大和市立 中学校
()年()組 名前()

教育委員会(T) → 指導室 → 04防災関係 に入っています!

もしも・・・

自然災害が起こったら。

中学生用

(保護者の方も一緒にお読みください。)



大和市立 中学校

()年()組 名前()

～ もくじ ～

1. 地震が起こったら
 - (1) 学校にいるときに地震が起こったら
 - (2) 登下校中に地震が起こったら
 - (3) 家にいるときや外出中に地震が起こったら
2. 台風や大雨になったら
 - (1) 雨や風が強くなる前に
 - (2) 雨や風が強くなってきたら
3. 普段から準備しておくこと (家族と話し合うこと)
 - (1) 自然災害が発生したときの家族との連絡方法について
 - (2) 自然災害が発生したときの持出品について
 - (3) 家の中や外の安全対策について
4. 自分の安全が確保できた後に
 - (1) 心肺蘇生法・AED・消火器・スタンドパイプの使い方
 - (2) 避難所までできること

スタンドパイプの使い方

市の自主防災組織、コンビニエンスストア、コミュニティセンター、小中学校等に「スタンドパイプ消火資機材」を配備しています。消火器とあわせ、スタンドパイプ消火資機材の操作方法も習得しておきましょう。

1. 消火栓のふたを開ける。

- ① 十字鍵の開閉部分を「開閉器具用穴」に入れ、この原理でふたを浮かせる。
- ② 十字鍵の鍵部をふたの鍵穴に入れ、十字鍵の持ち手を90度回転させ、ふたを手前に引く。

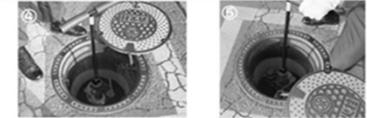


③ 手前に引いたら、ふたを約180度回し、消火栓を完全に開ける。



2. スタンドパイプの取り付け。

- ④ 大箱回しのボックス部を消火栓のスピンドルに付ける。
- ⑤ 取り付けたら大箱回しのハンドルを「時計と反対回し」に少し回し、消火栓の放水口から水が出るか確認する。確認が終わったら水を一度止める。



⑥ スタンドパイプを消火栓の放水口に取り付け。



3. 放水準備。

- ⑦ ホースのメス金具をオス金具と結合する。最後のオス金具は開先のメス金具に取り付ける。
- ⑧ 最初のホースのメス金具をスタンドパイプの放水口に取り付け。



防災教育究極の目標は、子どもたちが自分の命を自分で守れるようにすること。

それをできるようにするために、先生方、よろしくお願いします。

また、大和市学校防災マニュアルを参考に、各学校の防災マニュアルを見直しをお願いいたします。

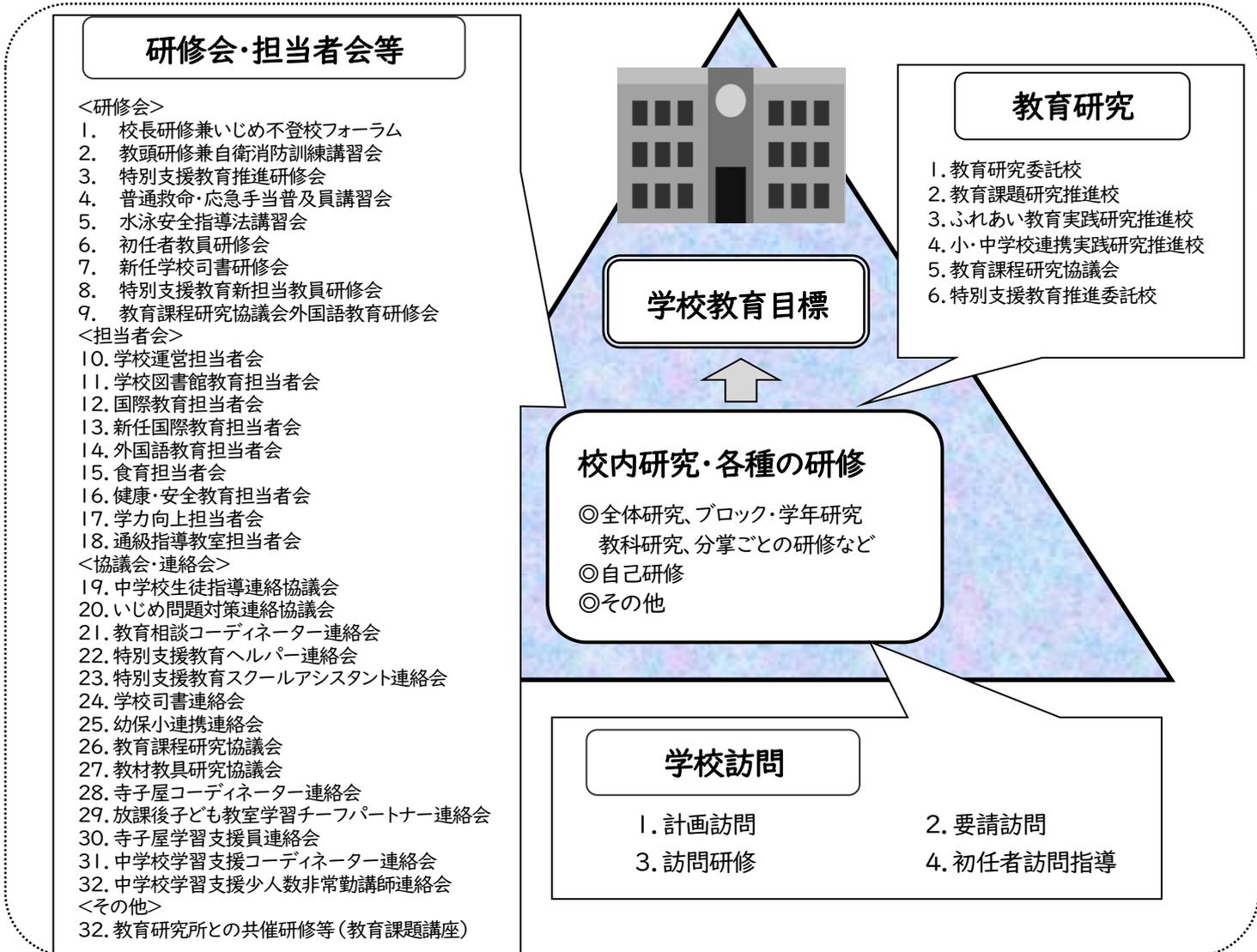
令和2年度末に教育委員会に提出していただく予定です。

ご清聴ありがとうございました

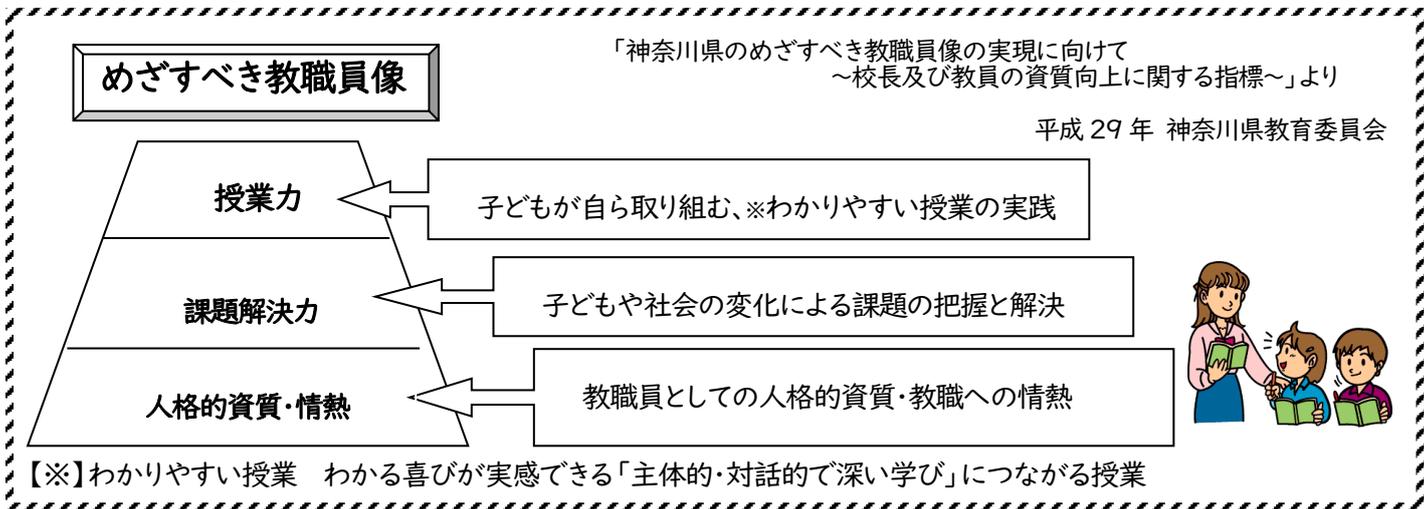
I 研究・研修の充実

教職員一人ひとりが、教員としての資質を磨き、情熱をもって子どもたちに、指導していくことや、わかりやすい授業の実践を図っていくことが求められています。さらに子どもたちの姿や社会の変化などによる課題を把握するとともに、適切に対応し、教育活動を推進していかなければなりません。

そのため各学校においては、研究・研修の工夫改善・充実を図り、教職員の授業力、学校の教育力を強化していくことが求められます。



◆ 座標 2 -①◆



I. 教育研究

1 教育研究委託校

各学校の自主的研究の高揚を図り、教育の質的向上を実現するために、研究委託校を設置し研究を委託する。

(1)研究期間 1年間

(2)委託料 1校あたり5万円

(3)委託校 小学校15校 中学校7校

(教育課題研究推進校
ふれあい教育実践研究校を除く)

2 教育課題研究推進校

今日的な教育課題の解決に向けた組織的、実践的な研究の推進を図り、その成果を「教育研究集録」にまとめるとともに、研究発表を行うことにより本市の教育の充実に資する。

(1)研究期間 3年間

(2)委託料 1年次・26万円 2年次・26万円 3年次・36万円

(3)委託校 小学校2校 中学校1校

学校名	研究内容・テーマ等(仮)	年次	備考
下福田中学校	生徒とともに創る主体的な「学び」の場	3年次	研究発表 11月2日
大和小学校	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成 ～語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～	2年次	中間発表 1月26日
桜丘小学校	未定	1年次	

3 ふれあい教育実践研究推進校

学習指導要領の趣旨を踏まえ、地域や学校、児童生徒の特性を生かした体験的な学習の充実に資する教育活動の実践研究を推進する。

(1)研究期間 2年間(令和3年度・4年度)

(2)委託料 1か年につき11万円

(3)委託校 小学校2校 中学校1校

学校名	研究内容・テーマ等	年次	備考
西鶴間小学校	未定	1年次	
福田小学校	未定	1年次	
渋谷中学校	未定	1年次	

4 小・中学校連携実践研究推進校

児童生徒一人ひとりの個性の伸長を図ると共に社会的資質や行動を高める指導のあり方を、小中連携の研究課題として実践推進する。

(1)研究期間 2年間(令和3年度・4年度)

(2)委託料 1か年につき10万円

(3)委託校 1中学校区該当校

学校名	協力校名	年次
上和田中学校	上和田小学校・桜丘小学校	1年次

5 教育課程研究協議会

今日的な教育課題や本市教育の諸課題の追究・解明のため、教科、領域にわたり、理論・実践研究を行い、問題提起や情報提供を行う。

研究の成果は各種の研修会等において提案、公表することによって、本市の教育実践の向上に資する。

(1)構成

小中学校の教員4～6名及び指導主事により部会を構成する。

(2)研究期間

1年間を単位とする。

(3)研究内容

外国語教育の推進等

◆ 座標 2-② ◆

学校名	令和2年度 校内研究テーマ(指導室調べ)
北大和小学校	互いに聴き合い学び合う児童の育成 ～自ら伝える力の向上を目指して～
林間小学校	生活に生きる読解力の向上を目指して ～読む力・考える力・表現する力の育成を通して～
大和小学校	自ら気づき、考え、表現するやまとっ子の育成 ～活用的な語彙力を生かし、学びを深める授業づくり～
草柳小学校	共に学び、共に生きる ～自分の考えを明確に伝え合う力の育成～
深見小学校	聴く力を付けよう ～主体的に取り組む態度の育成をめざして～
桜丘小学校	学び合い 育ち合い 共に生きる子をめざして ～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と学習評価～
渋谷小学校	「わかった!」「できた!」を実感できる子の育成 ～主体的に学ぶ意欲と確かな学力の向上を目指して～
西鶴間小学校	基礎基本の定着をはかるための、効果的な指導法の追求
緑野小学校	自ら考え、伝え合う、心豊かな子をめざして ～伝え合うことを通して学びを深める子どもを育てるために～
上和田小学校	伝え合う、深め合う、子どもの育成をめざして ～相手を意識して、自分の考えを伝えられる子～
柳橋小学校	自分で考え、かかわり合いの中で学ぶ子どもの育成を目指して ～伝え合い・学び合い・高め合い「あい」のあふれる授業づくり～
南林間小学校	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり ～根拠や理由に基づいた自分の考えを表現できる児童の育成～
福田小学校	自分の考えを持ち、発信する力を育む国語力の育成 ～書く活動を通して～
大野原小学校	友だちと豊かなかかわり合いができる子 ～語彙力の向上をめざした国語科の基礎基本の充実～
下福田小学校	自分の考えを深める子 ～つながりを意識した授業づくり～
大和東小学校	主体的・対話的で深い学びを目指して ～聴いて、考えて、学び合う日々の授業の充実を通して～
文ヶ岡小学校	主体的な家庭学習の指導 ～学びに向かう力を高める～
中央林間小学校	いつも「何のため」を考え、自ら行動しようとする子をめざして ～全員が参加できる道徳科の授業を通して～
引地台小学校	主体的・対話的で深い学び ～ICT活用の試行～
大和中学校	自他を認め心豊かに生きる生徒の育成 ～生徒一人ひとりの自己肯定感を育む学習をめざして～
光丘中学校	道徳教材の蓄積及び評価について
渋谷中学校	新指導要領に向けて
つきみ野中学校	新学習指導要領に準じた評価基準の研究
鶴間中学校	「学びあい活動」を取り入れた授業実践の継続
引地台中学校	新学習指導要領における観点別学習評価について
上和田中学校	新学習指導要領に向けての授業改善と評価
南林間中学校	本時のねらいを明確にした授業づくりの研究 ～評価方法とBの設定・生徒を到達させるための具体的な手立ての工夫～
下福田中学校	生徒とともに創る主体的な「学び」の場

6 研究・研修等の助成

令和3年度 大和市教育研究等委託一覧表

	委託名	委託先	委託金額
1	教育研究委託	(小学校15校) 北大和、林間、草柳、深見、 渋谷、緑野、上和田、柳橋、 南林間、大野原、下福田、 大和東、文ヶ岡、中央林間、 引地台 (中学校7校) 大和、光丘、つきみ野、鶴間、 引地台、上和田、南林間	50,000 円/校
2	教育課題研究推進校委託	桜丘小 (1年次) 大和小 (2年次) 下福田中 (3年次)	1,2年次 260,000 円/校 3年次 360,000 円/校
3	ふれあい教育実践研究委託	西鶴間小、福田小、渋谷中	110,000 円/校
4	小中学校連携実践研究推進校委託	上和田中	100,000 円/校
5	小中学校児童生徒指導強化対策事業委託	小学校長会校 中学校長会校	小学校 570,000 円/会 中学校 630,000 円/会 (※会長校より各校に配分します。)
6	中学校進路指導推進事業委託	中学校全9校	全体額 1,656,000 円 (※令和3年度より、9校に傾斜をかけて委託するため、委託金額は別途お知らせします。)
7	特別支援教育推進委託	大和市特別支援教育研究会 (文ヶ岡小)	1,000,000 円/会

令和3年度 補助金 一覧表

	内容	対象	金額
1	キャンプの補助 (健康増進特別事業補助金)	全小学校 全中学校	56,000 円/校 113,000 円/校
2-1	車いすバスケの補助 (健康増進特別事業補助金(福祉))	小学校7校 中学校3校	54,000 円/校 75,000 円/校
2-2	福祉体験の補助 (健康増進特別事業補助金(福祉))	車いすバスケ対象外 の小中学校	20,000 円/校
3	芸術鑑賞の補助 (文化的行事補助事業補助金)	全小学校 全中学校	150,000 円/校 230,000 円/校
4	美術館訪問の補助 (美術鑑賞事業補助金)	※令和3年度は コロナのため無し。	-
5	部活動の補助 (中学校部活動補助金)	全中学校	1,000,000 円/校
6	中体連の補助 (中学校体育連盟補助金)	担当校	1,325,000 円/校
7	小市教研の補助 (小学校教育研究会補助金)	担当校	405,000 円/校
8	中市教研の補助 (中学校教育研究会補助金)	担当校	372,000 円/校
9	中文連の補助 (神奈川県中学校文化連盟 大和支部総合文化祭補助金)	担当校	498,000 円/校
10	事務研の補助 (学校事務研究補助金)	担当校	45,000 円/校

令和3年度 謝礼等 一覧表

	内容	対象	金額
1	勤労生産学習（はたけ）支援者への謝礼 （地域教育活動推進事業費） ※前年度申請が必須	全小学校 全中学校	図書カード 前年度申請額分/校 図書カード 前年度申請額分/校
2	教育支援者への謝礼 （地域教育活動推進事業費）	全小学校 全中学校	図書カード 40,000円分/校 図書カード 60,000円分/校
3	研修会講師への謝礼等 （学校別児童生徒指導研修会費）	実施校3校	内1校 10,000円 （※対象は個人） 内1校 図書カード 10,000円分 （※対象は個人） 内1校 派遣手数料 10,000円 （※対象は法人）
4	部活動外部指導者への謝礼 （中学校部活動事業費） ※配置された学校のみ	全中学校	1人あたり年間 3,500円（税込）× 52回以内

※全体としての配当額を示してあります

Ⅱ. 学校訪問について

指導室の主要事業である学校訪問には、①指導室の計画に基づく「計画訪問」 ②学校からの要請による「要請訪問」 ③教育課題について指導室が訪問し研修を行う「訪問研修」（平成28年度より） ④初任者研修実施校等への「初任者訪問指導」の4種類があります。

（目的）

- 教育課程、学習指導、児童生徒指導、その他学校教育に関する専門的事項について指導助言を行う。
- 学校教育全般にわたる諸問題を把握し、本市教育の充実に資する。

1. 計画訪問

- (1) 実施期間（全体会）5月～7月
- (2) 実施回数 小・中学校とも全体会1回

協議会	◎指導室より、重点施策について説明する。(室長・主任指導主事・担当指導主事の3名が訪問) ◎校長・教頭・総括教諭等とともに、協議を行う。 ①学校経営方針 ②教育課程 ③学校で重点を置く課題(テーマ) ④指導室からのテーマ
-----	---

2. 要請訪問

- (1) 実施期間 6月～2月まで
- (2) 実施回数 原則、研究指定校は通年で3回まで。それ以外の学校も1回は実施。
- (3) 内容

授業研究※	◎授業実践に関する指導助言を行う。(指導案作成、授業実践前後の指導助言など) ◎校内研究に関する指導助言を行う。(推進委員会や校内研修会の指導助言など) ◎研究発表に関する指導助言を行う。(発表前、発表当日の指導助言など) ◎教育課程に関する指導助言を行う。(教科指導、評価のあり方、人権教育など)
-------	--

※特別支援教育の充実のために要請訪問において、特別支援学級の授業及び研究協議(事後指導)を2年間に1回以上設定する。

3. 訪問研修

- (1) 実施期間 5月～2月
- (2) 実施回数 2回(予定)
- (3) 内容 指導室の提示する課題について、学校を訪問し校内研修を実施する。

4. 初任者訪問指導 (拠点校方式については、本市指導主事の訪問はなし)

- (1) 実施期間 9月～2月
- (2) 実施回数 原則として従来方式の学校のみ初任者1名に対して1回実施
県央教育事務所指導訪問を兼ねる。(本市指導主事と2名で訪問指導を行う)
- (3) 内容 教科の授業実践に関する指導助言を行う。
(申請等詳細については、令和3年度初任者研修実施校説明会資料参照)

5. 申請手続きについて

- (1) 計画訪問 指導室の計画をもとにして、学校へ訪問する。
- (2) 要請訪問 「学校教育指導要覧」年間行事計画を参照し、年度初めに指導主事派遣希望を一括申請する(申請書3)。指導室が日程調整を行い、訪問日を連絡後、学校より具体的内容を申請する(申請書4)。
- (3) 訪問研修 要請訪問と同様に、年度初めに訪問研修希望日を一括申請する。

学校訪問	手 続 き	提出期限
計画訪問	①指導室より訪問する時間や訪問の指導主事などを学校に連絡	
要請訪問	①申請書3『指導主事の派遣 要請訪問実施日について』提出	4月末日
	②指導室より、訪問日を学校に連絡	5月下旬
	③申請書4『指導主事の派遣 要請訪問について』提出	14日前
	④指導室より、訪問する指導主事などを学校に連絡	申請書4提出後
	⑤『学習指導案(5部)』提出。校内研究資料・年間指導計画などを添付	7日前
訪問研修	①訪問研修希望票の提出	4月末日
	②指導室より、訪問日を学校に連絡	5月上旬

◆座標2-③◆

令和2年度 要請訪問・訪問研修 実施状況

教科・領域	指導数(回)	教科・領域	指導数(回)
	要請訪問		要請訪問
国語	9	音楽	1
算数・数学	2	図画工作・美術	0
道徳	3	技術家庭	0
社会・生活	3	体育・保健体育	2
理科	1	外国語活動・英語	4
総合的な学習の時間	0	特別活動	1
講義のみ(学習評価など)	9	自立活動・生活単元	6
要請訪問 合計		41回	

分野	指導数(回)	分野	指導数(回)
	訪問研修		訪問研修
学校防災	28回	児童生徒指導他 (コロナのため実施できず)	0回
訪問研修 合計		28回	

今日の社会的状況及び校内の教職員年代構成を踏まえ、“学びつづける教職員”の実現を目指し、人格的資質・課題解決力・授業力など、教職員の資質・能力の向上や学校の教育力を高める研修の充実を図ります。

(1) 人格的資質向上研修講座(年間2回)

豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図ります。

(2) 課題解決力向上研修講座(年間6回)

子どもや社会の変化による様々な教育課題について学び、課題解決力の向上を図ります。

(3) 授業力向上研修講座(年間6回 + 理科訪問研修回数)

教科教育等に関わる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図ります。

(4) 特別講座【社会体験研修】(年間1回)

社会福祉施設等での体験を通して、幅広い視野からのものの見方を体得し、社会人・教育公務員としての自覚の向上を図ります。

(5) 教育研究所発表会・教育講演会(年間各1回)

教育研究所発表会では、教育研究所で行った調査研究の概要を発表し、その成果を本市教育に反映します。

教育講演会では、教職員・保護者・市民が教育についてともに学び、地域・家庭との連携を深めます。

(6) 実践力向上研修発表会(年間1回)

1年間の研修を通して経験、体得したこと等、学びの成果の報告をします。

(7) 教育の情報化に関する研修講座(年間1回 + 訪問研修回数)

① 情報セキュリティ[校長・教頭・教務担当・ネットワークリーダー未受講者・各校1名以上]

学校における情報セキュリティ対策を推進する必要性について研修し、情報セキュリティに関する意識を高めます。

② 訪問研修

各学校を会場にした研修を学校の希望により開催し、教育の情報化を推進します。

(基本ソフトの操作・活用法、ICT機器を授業に活用する手法等)

(8) 実践力向上研修(研修グループにより計画)

① 教員自らが課題意識を持ち、課題解決のために行動することができる実践力を身に付けます。

② 4つのテーマごとの研修グループを募り、1年間の研修を進めます。

2. 大和市教育委員会主催の研修会等

(指 指導室 研 教育研究所 青 青少年相談室 保 保健給食課 総 教育総務課 学 学校教育課)

(1) 基本研修 年次や職務級により、受講を義務付けている研修です。

(1)-1 大和市教育委員会担当の初任者研修

事業名	指 初任者研修会		101
目的	教員としての心構えを認識し、職務に対する自覚を高めるとともに、より良い授業のあり方について基礎的理解を深め、授業づくりの視点を持って実践的指導力を高めます。		
内容	第1回【人格的資質向上①、課題解決力向上①】 教育長講話 校長講話 初任者研修について	期日	5月25日(火)
		時間	9:00~12:00
講師	教育長・校長会長・指導室長 担当指導主事	会場	特別支援教育センター アンダンテ
内容	第2回【人格的資質向上②】 講義・演習「児童生徒指導」「人権教育」「支援教育」(予定)	期日	7月13日(火)
		時間	14:00~16:50
講師	指導室・担当指導主事	会場	渋谷学習センター
内容	第3回【人格的資質向上③】 講義・演習「学級づくり」(予定) 演習「人間関係づくり」	期日	8月24日(火)
		時間	9:30~16:50
講師	初任者指導アドバイザー 野中信行 氏 指導室 指導主事	会場	北部文化スポーツセンター ポラリス
内容	第4回【課題解決力向上②】 講義「学習評価」(予定) 演習「1年間のふりかえり」	期日	1月25日(火)
		時間	14:00~16:50
講師	指導室 指導主事	会場	生涯学習センター シリウス
対象	初任者 (第1回のみ初任研免除者、養護教諭、栄養教諭、事務主事も対象。)	申込	不要
備考	※本年度は、宿泊研修は行いません。	問合せ先	指導室 Tel) 046-260-5210

(1)-2 人格的資質向上研修 決められた年次等までに、受講を推奨する研修です。

事業名	研 人格的資質向上研修講座			102
目的	豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図ります。			
内容	【ホスピタリティ】 信頼感・安心感が生まれる人間関係づくり ～「ホスピタリティ」を学校で生かそう～	期日	6月21日(月)	
		時間	14:00～16:50	
講師	ホスピタリティコーディネーター 朝岡 万史江	会場	生涯学習センター	
対象	教育研究所【社会体験研修】受講者及び希望者	申込	5月7日(金)まで	
内容	【人権教育】 地域も学校も多文化共生 ～日本にいる難民のはなし～	期日	8月3日(火)	
		時間	14:30～17:00	
講師	認定 NPO 法人難民支援協会 (JAR) 鶴木 由美子	会場	渋谷学習センター	
対象	1～4年経験者教員・国際教育担当教員推奨 及び希望者・保護者・市民	申込	5月7日(金)まで	
備考	◆5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[人格的資質] ◆初任者選択講座対象[人格的資質] 【ホスピタリティ】は教育研究所の特別講座【社会体験研修】受講者は必修 【人権教育】は1～4年経験者推奨	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213	

事業名	研 情報教育研修講座【情報セキュリティ】			103
目的	学校の情報資産及びそのセキュリティ対策について理解を深め、情報管理の意識を高めます。			
内容	【情報セキュリティ】 校内における情報セキュリティ対策について	期日	12月27日(月)	
		時間	9:30～10:30	
講師	インストラクター	会場	未定	
対象	校長・教頭・教務担当・ネットワークリーダーのうち各校1名以上(未受講者推奨)及び希望者	申込	別途連絡	
備考		問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213	

(1)-3 課題解決力向上研修 決められた年次等までに、受講を義務付けた研修です。

事業名	研 課題解決力向上研修講座【学校におけるICT活用】			104
目的	校内LANとコンピュータ教室の基本的な仕組みと操作について学びます。			
内容	【学校におけるICT活用】 校内LANとICT機器活用	期日	① 8月23日(月)中学校 ② 8月24日(火)小学校	
		時間	14:30～16:50	
講師	インストラクター	会場	① つきみ野中学校 ② 林間小学校	
対象	①中学校1年経験者教員 ②小学校1年経験者教員 及び希望者	申込	5月7日(金)まで	
備考	△1年経験者選択講座対象(課題解決力) 1年経験者は必修	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213	

(1)-4 授業力向上研修 決められた年次等までに、受講を義務付けた研修です。

事業名	⑧ 授業力向上研修講座		105
目的	教科教育等にかかわる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図ります。		
内容	【小学校理科観察・実験】 小学校理科の観察・実験の基礎	期日	6月22日(火)、25日(金) (同内容で2日実施 いずれか1日受講)
		時間	14:30~16:50
講師	県立青少年センター 技師	会場	柳橋小学校西棟 (理科センター)
対象	小学校1年経験者教員及び希望者	申込	5月7日(金)まで
備考	◎小学校1年経験者選択講座対象(授業力向上) 小学校1年経験者は必修	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213

(1)-5 その他研修 決められた年次等までに、受講を義務付けた研修です。

事業名	⑨ 普通救命講習会		106
目的	生命の危険な状態における対処の仕方を学習し、教員の資質向上と学校の危機管理力の向上を図ります。		
内容	普通救命講習会<心肺蘇生法とAEDの使用法>	期日	4月14日(水) ~20日(火) 分散開催
		時間	13:30~16:50
講師	大和市消防本部職員	会場	消防本部
対象	・各校1名、及び希望者(1~5年次の教員)	申込	4月5日(月)まで
備考	応急手当普及員は3年ごとに受講 14日(水)-北大和小、林間小、大和小、草柳小、深見小 15日(木)-桜丘小、渋谷小、西鶴間小、緑野小、上和田小、柳橋小 16日(金)-南林間小、福田小、大野原小、下福田小、大和東小、文ヶ岡小 19日(月)-中央林間小、引地台小、大和中、光丘中、渋谷中 20日(火)-つきみ野中、鶴間中、引地台中、上和田中、南林間中、下福田中	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

(2) 専門研修(希望者) 資質向上を目指した自己のキャリア形成を考え、計画的な受講をお願いします。

(2)-1 人格的資質向上

事業名	㊟ 人格的資質向上研修講座		201
目的	豊かな人間性と社会性及び対人関係能力を培い、人格的資質の向上を図ります。		
内容	【ホスピタリティ】〔再掲〕 信頼感・安心感が生まれる人間関係づくり ～「ホスピタリティ」を学校で生かそう～	期日	6月21日(月)
		時間	14:00～16:50
講師	ホスピタリティコーディネーター 朝岡 万吏江	会場	生涯学習センター
対象	教育研究所の特別講座【社会体験研修】受講者及び希望者	申込	5月7日(金)まで
内容	【人権教育】〔再掲〕 地域も学校も多文化共生 ～日本にいる難民のはなし～	期日	8月3日(火)
		時間	14:30～17:00
講師	認定NPO 法人難民支援協会(JAR) 鶴木 由美子	会場	渋谷学習センター
対象	1～4年経験者教員・国際教育担当教員推奨 及び希望者・保護者・市民	申込	5月7日(金)まで
備考	◆5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[人格的資質] ◆初任者選択講座対象[人格的資質] 【ホスピタリティ】は教育研究所の特別講座【社会体験研修】 受講者は必修 【人権教育】は1～4年経験者推奨	問合せ先	教育研究所 Tel)046-260-5213

事業名	㊟ 特別講座【社会体験研修】		202
目的	社会福祉施設等での体験を通して、幅広い視野からものの見方を体得し、社会人・教育公務員としての自覚の向上を図ります。		
内容	【社会体験研修】事前打合せ会(研修説明会)	期日	5月25日(火)
		時間	15:50～16:50
講師	教育研究所 指導主事	会場	渋谷学習センター
内容	【社会体験研修】3日間の実習 ① 公立保育園・私立保育園、社会福祉法人大和しらかし会《松風園》 ② 社会福祉法人やまねっと《地域作業所》 ③ 市立図書館《大和市立図書館》 社会福祉法人やまねっと《地域作業所》 ④ 公立保育園・私立保育園	期日	① 7月26日(月) ～7月28日(水)
			② 7月28日(水) ～7月30日(金)
			③ 8月2日(月) ～8月4日(水)
			④ 8月4日(水) ～8月6日(金)
		時間	各事業所による
		会場	各事業所・施設
対象	◆5年経験者選択講座対象[人格的資質] 教職員(希望者) *ここで掲げた施設での研修希望者	申込	4月16日(金)まで
備考	事前打合せ(5月25日)には必ず参加のこと。 人格的資質向上研修講座【ホスピタリティ】(6月21日)を併せて受講すること(要・別途申込み)。 日程・施設等の詳細は別紙「令和3年度大和市教育研究所研修講座案内」にて。	問合せ先	教育研究所 Tel)046-260-5213

(2)-2 課題解決力向上

事業名	研 課題解決力向上研修講座		203
目的	子どもや社会の変化によるさまざまな教育課題について学び、課題解決力の向上を図ります。		
内容	【学級経営】 子どもとの関わりが変わる ～「笑い」と「笑顔」があふれる学級づくり～	期日	7月26日(月)
		時間	14:00～16:50
講師	こどもコンサルタント 原坂 一郎	会場	光丘中学校
対象	教職員(希望者)	申込	5月7日(金)まで
内容	【教育社会学】 社会の変化から見る「学校」や「教師」の役割	期日	7月28日(水)
		時間	14:00～16:50
講師	東京大学大学院 教授 本田 由紀	会場	渋谷学習センター
対象	教職員(希望者)	申込	5月7日(金)まで
内容	【児童生徒指導】 関係性の児童・生徒指導 ～子どもの成長上の課題をふまえた今日的な児童・生徒指導の在り方～	期日	8月4日(水)
		時間	14:00～16:50
講師	神奈川大学 人間科学部 人間科学科 教授 近藤 昭一	会場	渋谷学習センター
対象	教職員(希望者)	申込	5月7日(金)まで
内容	【健康・安全教育】(※指導室と共催) 子どもの防犯力を高める安全教育 ～犯罪から子どもを守るには～	期日	8月17日(火)
		時間	13:45～16:50
講師	NPO 法人 日本こどもの安全教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子	会場	渋谷学習センター
対象	教職員(希望者)・保護者・市民 ◎各校1名以上	申込	5月7日(金)まで
内容	【学校における ICT 活用】〔再掲〕 校内LANとICT機器活用	期日	① 8月23日(月)中学校 ② 8月24日(火)小学校
		時間	14:30～16:50
講師	インストラクター	会場	① つきみ野中学校 ② 林間小学校
対象	①中学校1年経験者教員 ②小学校1年経験者教員 及び希望者	申込	5月7日(金)まで
備考	△初任者選択講座対象[課題解決力] △5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[課題解決力] △学校における ICT 活用は、1年経験者選択講座対象(課題解決力)1年経験者は必修	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213

(2)-3 授業力向上

事業名	研 授業力向上研修講座		204
目的	教科教育等にかかわる基礎的・専門的知識及び技能について学び、指導技術の向上を図ります。		
内容	【探究型授業】 調べたことから自分の考えをまとめる方法 ～演習を通して学ぶ、子どもへの指導方法～	期日	8月2日(月)
		時間	14:00～16:50
		会場	北大和小学校
講師	放送大学 客員准教授 塩谷 京子	申込	5月7日(金)まで
内容	【外国語】 小・中・高のつながりを踏まえた「外国語・英語教育」 ～これからの指導と評価のポイント～	期日	8月19日(木)
		時間	14:00～16:50
		会場	渋谷学習センター
講師	文部科学省教科調査官(中学校) 山田 誠志	申込	5月7日(金)まで
内容	【理科実地研修】 江の島の自然観察(地層と磯の生物観察)	期日	8月6日(金)
		時間	9:00～12:00
		会場	江の島
講師	元藤沢市小学校長 菊池 久登	申込	5月7日(金)まで
内容	【教科 未定】 端末を活用した授業実践(中学校) ※提案授業+講義	期日	10月14日(木)
		時間	5校時～16:50
		会場	未定
講師	放送大学客員教授 佐藤 幸江	申込	5月7日(金)まで
内容	【教科 未定】 端末を活用した授業実践(小学校) ※提案授業+講義	期日	11月16日(火)
		時間	5校時～16:50
		会場	未定
講師	放送大学客員教授 佐藤 幸江	申込	5月7日(金)まで
対象	教職員(希望者)		
備考	◎初任者選択講座対象[授業力向上]	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213
	◎中学校1年経験者選択講座対象[授業力向上] ◎5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[授業力向上]		
内容	【小学校理科観察・実験】[再掲] 小学校理科の観察・実験の基礎	期日	6月22日(火)、25日(金) (同内容で2日実施 いずれか1日受講)
		時間	14:30～16:50
		会場	柳橋小学校西棟 (理科センター)
講師	県立青少年センター 技師	申込	5月7日(金)まで
対象	小学校1年経験者教員及び希望者		
備考	◎小学校1年経験者選択講座対象[授業力向上] 小学校1年経験者は必修	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213
内容	【理科訪問研修】 生き物の飼育法、科学工作、観察・実験器具の取り扱いの基礎 等	期日	5月～12月(随時)
		時間	1～2時間程度
		会場	各学校理科室等
講師	教育研究所指導主事	申込	別途募集(随時)
対象	教職員(各学校における研修会)		
備考	※最小開催人数1名	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213
	詳細は、別紙「理科教育学校訪問研修」要項にて		

(2)-4 その他研修

事業名	④ 青少年相談室夏季研修講座		205
目的	ケースに関わる子どもたちに対して、外部機関との連携の仕方について学びます。		
内容	子どもたちに関わる課題に対して、学校での対応とそのアセスメントと環境調整や要支援者へのアプローチなどスクールソーシャルワーカーの連携支援の実際を学ぶ。	期日	7月22日(木)
		時間	9:30~12:00
講師	青少年相談室 スクールソーシャルワーカー	会場	青少年相談室
対象	教職員希望者	申込	前日までに電話・FAX
備考	3回連続シリーズです	問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

事業名	④ 青少年相談室夏季研修講座		206
目的	ケースに関わる子どもの行動とその心理的背景について、子どもたちを見守る力を養います		
内容	不登校児童・生徒、行動に課題がある子どもたちの心理的背景とその支援についてどうアセスメントが行われるのか臨床心理士より学ぶ。	期日	7月26日(月)
		時間	9:30~12:00
講師	青少年相談室 青少年心理カウンセラー	会場	青少年相談室
対象	教職員希望者	申込	前日までに電話・FAX
備考	3回連続シリーズです	問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

事業名	④ 青少年相談室夏季研修講座		207
目的	支援に対するの共通思考について確認し、教室の子どもたちを見守る力を養います		
内容	子どもたちに関わる課題を複眼的に分析し、アセスメントを行うとともに、ケースの進行管理や終結点について考えます。	期日	8月19日(木)
		時間	9:30~12:00
講師	青少年心理カウンセラー・スクールソーシャルワーカー・指導主事	会場	青少年相談室
対象	教職員希望者	申込	前日までに電話・FAX
備考	3回連続シリーズです	問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

(3) 専門研修(各校1名以上) 専門的な知識の学校現場での普及により、学校力UPを図ります。

(3)-1 課題解決力向上

事業名	⑤ 特別支援教育新担当教員研修会		301
目的	支援を必要とする児童生徒の理解や、特別支援学級等の運営に関する基本的事項について理解し、学校での支援の充実を図ります。		
内容	支援教育の心構えについて、大和市の支援教育について 個別の支援・指導計画、相談支援ファイル「かけはし」について	期日	4月12日(月)
		時間	15:00~17:00
講師	教育委員会指導主事	会場	特別支援教育センター
対象	特別支援学級新担当、通級指導教室新担当、 教育相談コーディネーター新担当希望者	申込	4月7日(水)まで
備考		問合せ先	特別支援教育センター Tel)046-273-8351

事業名	⑤ 教頭研修会 兼 自衛消防訓練講習会		302
目的	学校経営上の諸問題について、現状を把握分析し、教頭としての指導・管理面の充実を図るとともに、防災資器材の使用方法を学びます。		
内容	自衛消防訓練	期日	8月3日(火)
		時間	9:00~12:00
講師	消防本部予防課職員	会場	緑野小学校
対象	教頭	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	指導室 Tel) 046-260-5210

事業名	⑤ 特別支援教育推進研修会		303
目的	教育的ニーズの理解、指導方法を研修し、特別支援教育の指導の向上を図ります。		
内容	【全体会】 ① 講演「これからのインクルーシブ教育について」 ② 情報提供「特別支援教育について」	期日	7月27日(火)
		時間	9:30~12:00
講師	① 東京大学 特任助教 二羽 泰子 氏 ② 教育委員会指導主事	会場	シリウス(メインホール)
		申込	4月14日(水)まで
内容	【選択①】 講演「就労を見据えた支援について」 ① キャリア教育について ② 自立活動と支援方法について	期日	7月27日(火)
		時間	14:30~17:00
講師	元神奈川県立金沢養護学校 副校長 渡邊 昭宏 氏	会場	シリウス(サブホール)
		申込	6月末日まで
内容	【選択②】 講演「通常の学級における困り感のある子への支援」	期日	7月28日(水)
		時間	9:30~12:00
講師	明星大学 教授 小貫 悟 氏	会場	アングンテ
		申込	6月末日まで
内容	【選択③】 ムーブメント運動についての理解と実践 ① 認知発達と運動の発達について ② ムーブメントの実践	期日	8月4日(水)
		時間	9:30~12:00
講師	玉川大学 教授 安藤 正紀 氏	会場	ポラリス
		申込	6月末日まで
内容	【選択④】 自閉症・ADHDの特性理解と支援方法 ① 自閉症の特性理解と支援方法 ② ADHDの特性理解と支援方法	期日	8月4日(水)
		時間	14:30~17:00
講師	横浜国立大学 教授 関戸 英紀 氏	会場	ポラリス
		申込	6月末日まで
対象備考	<input type="checkbox"/> 特別支援学級担当者(必須) <input type="checkbox"/> 教育相談コーディネーター(必須) <input type="checkbox"/> ことばの教室担当者(必須) <input type="checkbox"/> はぐくみの教室担当者(必須) <input type="checkbox"/> 院内学級担当者(必須) <input type="checkbox"/> 特別支援学級担任以外(交流級担任優先)(必須)3名 <input type="checkbox"/> その他、希望者(ヘルパー・SA) ◎全体会は全員受講、選択①~④はいずれか1つ以上を選択受講 <input type="checkbox"/> 初任者選択講座対象[課題解決力向上] <input type="checkbox"/> 中学校1年経験者選択講座対象[課題解決力向上] <input type="checkbox"/> 5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[課題解決力向上]		問合せ先 特別支援教育センター Tel) 046-273-8351

事業名	㊟ 課題解決力向上研修講座		304
目的	子どもや社会の変化によるさまざまな教育課題について学び、課題解決力の向上を図ります。		
内容	【健康・安全教育】(※指導室と共催)[再掲] 子どもの防犯力を高める安全教育 ～犯罪から子どもを守るには～	期日	8月17日(火)
		時間	13:45～16:50
講師	NPO 法人 日本こどもの安全教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子	会場	渋谷学習センター
対象	教職員(希望者)・保護者・市民 健康安全担当各校1名以上及び希望者	申込	5月7日(金)まで
備考	△初任者選択講座対象[課題解決力] △5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[課題解決力]	問合せ先	教育研究所 Tel) 046-260-5213

(3)-4 その他研修

事業名	㊟ 応急手当普及員講習会		305
目的	教職員が、緊急時において的確な対応を行うための知識と技能を身につけます。		
内形	AEDを活用した校内での応急手当講習会開催のための普及員養成	期日	①8月2日(月) ～8月4日(水) ②8月5日(木) ～10日(火)
		時間	9:00～17:00
講師	大和市消防本部救急救命課 職員	会場	消防本部 講堂
対象	①中学校各校1名(養護教諭で未資格保有者優先) ②小学校(2分割) Bブロック各校1名(養護教諭で未資格保有者優先)	申込	4月14日(水)まで
備考	・連続3日間受講すること。 ・隔年令和4年度は小学校Aブロック校	問合せ先	指導室 Tel) 046-260-5210

事業名	㊟ 水泳安全指導法講習会		306
目的	教職員が、水泳学習を安全に実施するとともに、緊急時において的確な対応を行うための知識と技能を身につけます。		
内容	水泳学習指導における安全管理について	期日	6月8日(火)
		時間	14:30～16:50
講師	日本水泳振興会職員	会場	場所未定
対象	小学校各校1名、中学校各校1名 及び希望者(未受講者)	申込	4月14日(水)まで
備考	△初任者選択講座対象[課題解決力] ・未受講者が望ましい ※今年度は実技は行わず、座学の実施となります。	問合せ先	指導室 Tel) 046-260-5210

事業名	㊟ 教職員のメンタルヘルス研修講座		307
目的	教職員のメンタルヘルスについてわかりやすく学び、心の健康の保持・増進を図ります。		
内容	セルフケアや学校での環境づくりなどの講演	期日	7月下旬～8月上旬予定
		時間	1時間30分程度
講師	未定	会場	未定
対象	各校1名以上及び希望者	申込	文書で通知
備考	詳細は後日文書でお知らせします。	問合せ先	保健給食課 Tel) 046-260-5206

事業名	⑨ 市立病院小児科医師による学校での食物アレルギー対応とエピペン研修会		308
目的	児童生徒がアナフィラキシーを発症した際に、教職員が適切な対応を取れることを目指します。		
内容	食物アレルギーについての知識とアナフィラキシー発症時の対応の講演、練習用エピペンによる練習	期日	7月下旬～8月下旬予定
		時間	1時間30分程度
講師	大和市立病院 小児科医師	会場	未定
対象	学校に勤務する未受講の教職員等	申込	文書で通知
備考	詳細は後日文書でお知らせします。	問合せ先	保健給食課 TEL)046-260-5206

事業名	⑩ 教育課程研究協議会 外国語教育研修会		309
目的	9年間を見通した外国語教育を推進するために必要な研修を行います。		
内容	外国語教育についての講演	期日	10月26日(火)
		時間	14:30～16:50
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課教科調査官 国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官 山田 誠志 氏	会場	生涯学習センター
対象	中学校 外国語科担当者、小学校 外国語教育担当者 各校1名	申込	4月14日(水)まで
備考	詳細は後日文書でお知らせします。	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

(4) 担当者会等(各校担当者) 各校の担当者への情報提供及び協議等を通して、学校力UPを図ります。

事業名	⑪ 学校運営担当者会(教頭・教務担当)		401
目的	本市教育施策の理解と教育課程編成について情報を提供します。		
内容	教育長挨拶・各課事業説明・提出文書について	期日	4月12日(月)
		時間	14:00～16:50
講師	教育長・教育委員会各課担当職員	会場	大和中学校 体育館
対象	教頭・教務担当	申込	不要
備考		問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	⑫ 学校図書館教育担当者会		402
目的	学校図書館の有効活用や児童生徒の読書活動推進に向けた図書館教育の取組について情報を提供します。		
内容	①大和市の学校図書館教育について(今年度の取組・情報提供) ②選書についての講習及び情報提供	期日	① 4月12日(月) ② 5月13日(木)
		時間	① 15:00～17:00 ② 15:00～17:00
講師	①大和市学校図書館スーパーバイザー(SLS) ②大和市学校図書館スーパーバイザー(SLS)	会場	① 生涯学習センター ② 生涯学習センター
対象	①学校図書館教育担当者1名・学校司書1名 ②学校図書館教育担当者1名	申込	① 不要 ② 4月14日(水)まで
備考		問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ 学力向上担当者会		403
目的	学校の学力向上に向けたプラン作成の意義と取り組みの方向性を理解し、事項における学力向上の推進を図ります。		
内容	①学力向上プラン作成についてと情報交換 ②学力向上プラン見直しについてと各学校の取り組み報告	期日	① 5月13日(木) ② 2月2日(水)
		時間	14:30~17:00
講師	指導室指導主事	会場	① 生涯学習センター ② 生涯学習センター
対象	学力向上担当者 各校1名	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ 国際教育担当者会		404
目的	外国につながる児童生徒への支援の方法について情報提供するとともに、関係者による情報交換を行います。		
内容	外国につながる児童生徒の学習支援、教育相談、日本語初期指導、国際教室の運営等の情報提供と情報交換	期日	① 4月13日(火) ② 6月29日(火)
		時間	① 14:30~16:50 ② 14:30~16:50
講師	① 横浜国立大学非常勤講師 嶽肩 志江 ② ハワイ大学マノア校アウトリーチカレッジ日本語教師 尾関 史	会場	① 渋谷学習センター ② 渋谷学習センター
対象	国際教育担当者・希望者	申込	4月7日(水)まで
備考	※日本語指導員・外国人児童生徒教育相談員 参加 ① 同日に新任国際教育担当者会を開催	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ 中学校・小学校外国語教育担当者会		405
目的	中学校・小学校外国語教育の推進に向けて、小中連携のもとに効果的指導のあり方について情報を提供するとともに、次年度のAET及びALTの派遣について調整を行います。		
内容	外国語教育のあり方と指導体制の確認と次年度の計画	期日	2月21日(月)
		時間	14:30~16:50
講師	指導室 指導主事	会場	生涯学習センター
対象	中学校外国語科担当者、小学校教務担当者か外国語教育担当者 各校1名	申込	4月14日(水)まで
備考	※次年度の学校行事予定を持参ください。	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ 健康・安全教育担当者会 兼 課題解決力向上研修講座		406
目的	学校における健康・安全教育の課題について具体的方策についての情報を提供します。		
内容	子どもの防犯力を高める安全教育 ～犯罪から子どもを守るには～ 情報提供[自転車事故防止、熱中症予防] (※教育研究所203・304と共催)	期日	8月17日(火)
		時間	13:45~16:50
講師	NPO 法人 日本こどもの安全教育総合研究所 理事長 宮田 美恵子	会場	渋谷学習センターホール
対象	健康・安全教育担当者 各校1名 及び希望者	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	⑩ ④ いじめ問題対策連絡協議会		407
目的	児童生徒に関するいじめや不登校を中心とした諸問題への対応について情報提供と協議を行います。		
内容	①学校のいじめ防止基本方針について	期日	① 4月30日(金)
	②児童生徒指導上の諸問題について	時間	② 11月8日(月)
講師	③小中情報交換	会場	15:00~16:50
	大和警察 神奈川県警察本部少年相談保護センター 神奈川県中央児童相談所	申込	① 生涯学習センター ② 生涯学習センター601
対象	中学校生徒指導担当者、児童支援中核教諭 各校1名	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	指導室 Tel) 046-260-5210

事業名	⑩ 教育相談コーディネーター連絡会		408
目的	支援教育を推進するために必要な研修等を行います。		
内容	○情報提供	期日	① 5月11日(火)
	○巡回相談について	時間	② 2月15日(火)
講師	○情報交換	会場	14:30~16:50
	教育委員会指導主事	申込	① 特別支援教育センター ② 特別支援教育センター
対象	教育相談コーディネーターおよび希望者	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	特別支援教育センター Tel) 046-273-8351

事業名	⑩ 中学校生徒指導連絡協議会		409
目的	中学校生徒指導に関する諸問題の対応について、関係機関と連携の上、情報の共有と協議を行い、各校の指導に活かします。		
内容	関係機関からの情報提供 各校の情報交換・協議	期日	① 4月30日(金)
	※①4月30日(金)については、いじめ問題対策連絡協議会と兼ねるため、開催時間は、13:30~14:35(受付 13:15~)となります。 ご注意ください。	時間	② 5月31日(月)
講師	大和警察・神奈川県警察本部少年相談保護センター・ 神奈川県中央児童相談所	会場	③ 7月5日(月)
		申込	④ 8月30日(月)
対象	中学校生徒指導担当者	申込	⑤ 10月8日(金)
備考		問合せ先	⑥ 11月29日(月)
			⑦ 1月11日(火)
			⑧ 2月21日(月)

事業名	⑩ 幼保小連携連絡会		410
目的	幼稚園・保育園・小学校の連携のありかたについて情報を提供し、協議を行います。		
内容	スタートカリキュラムについて	期日	5月27日(木)
	就学相談の流れについて	時間	14:30~16:50
講師	相談支援ファイル「かけはし」について	会場	特別支援教育センター
	教育委員会指導主事	申込	4月14日(水)まで
対象	小学校低学年担当者1名・希望者・幼稚園教諭・保育園保育士	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	特別支援教育センター Tel) 046-273-8351

事業名	④ 児童・生徒支援研修会		411
目的	担当教諭の相互支援の場を提供し、教育活動に活かします。		
内容	中学校区を単位として、児童・生徒支援についての情報交換と相互支援などを行います。 ① つきみ野中、南林間中学校校区対象(含む西鶴間小) ② 光丘中、引地台中学校区対象(除く福田小) ③ 上和田中、渋谷中、下福田中学校区対象(含む福田小) ④ 鶴間中、大和中学校区対象(除く西鶴間小)	期日	① 4月19日(月) ② 4月20日(火) ③ 4月21日(水) ④ 4月23日(金)
		時間	14:30~17:00
講師	青少年相談室 教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏	会場	青少年相談室
対象	中学校教育相談コーディネーター 小学校中核教諭・教育相談コーディネーター	申込	後日連絡
備考		問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

事業名	④ 教育相談担当者研修会		412
目的	ケースアセスメントについて・児童虐待の対応について学びます		
内容	① 児童虐待の対応について、その支援の考え方、リスクアセスメントについて学びます。 ②・③ 専門的知見に基づくアセスメントの実際について学びます。	期日	① 6月29日(火) ② 10月19日(火) ③ 1月25日(火)
		時間	14:30~17:00
講師	児童相談所職員・福祉機関職員・心理分野学識経験者・福祉分野学識経験者等を予定	会場	青少年相談室
対象	中学校・小学校 教育相談に携わる教職員 各校1名	申込	後日連絡
備考		問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

事業名	④ 中学校教育相談コーディネーターと教育相談員の情報交換会		413
目的	中学校教育相談コーディネーターと教育相談員が情報交換を行い入学後の支援に役立てます。		
内容	中学校進学に向けての情報交換を行います。教育相談アドバイザーによるSVも可能。 ① つきみ野中、南林間中教育相談CN ② 引地台中、上和田中、渋谷中、下福田中教育相談CN ③ 鶴間中、大和中、光丘中教育相談CN	期日	① 2月28日(月) ② 3月2日(水) ③ 3月3日(木)
		時間	14:30~17:00
講師	青少年相談室 教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏	会場	青少年相談室
対象	中学校教育相談コーディネーター	申込	後日連絡
備考		問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

事業名	④ 不登校児童生徒支援員研修会		414
目的	不登校児童・生徒への対応について学び、日々の実践に生かします。		
内容	① 「不登校児童・生徒との関わり方など(学習支援・教育相談)」 ② 「不登校児童・生徒の状況報告・教育支援教室との連携など」	期日	① 4月28日(水) ② 10月6日(水)
		時間	15:00~17:00
講師	①青少年相談室 教育相談アドバイザー 小見 祐子 氏 ②青少年相談室 指導主事	会場	青少年相談室
対象	不登校児童生徒支援員	申込	後日連絡
備考		問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036

事業名	④ 教育課程研究協議会		415
目的	教育課程に係わる課題について研究し研究成果の発信を行う。		
内容	未定	期日	年間12回程度
		時間	午後
講師	未定	会場	未定
対象	別途指定	申込	不要
備考	協議会の日程は後日決定	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ 教材教具研究協議会		416
目的	市内小中学校の教材教具の均一化・教育の機会均等を図ります。		
内容	①物品選定理由書・標準教材品目表の見直し ②物品選定理由書の審査内容の協議 ③教科毎に標準教材品目表の見直し	期日	5月18日(火)
		時間	小 14:30~15:30 中 15:50~16:50
講師	なし	会場	大和市役所 会議室棟101会議室
対象	小・中学校教材教具研究協議会(市内割り当て)	申込	文書で通知
備考	小学校と中学校で時間が異なります。	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ 食育担当者会		417
目的	栄養教諭を中核とした食育ネットワーク指導の体制を整え、学校における食育指導の充実を図ります。		
内容	栄養教諭を中核とした食育ネットワークの推進のための情報提供・情報交換	期日	6月17日(木)
		時間	15:00~16:45
講師	なし	会場	大和市生涯学習センター シリウス
対象	食育担当者(各校1名)、栄養教諭、栄養士	申込	4月14日(水)まで
備考	保健給食課と共催	問合せ先	指導室 TEL)046-260-5210

事業名	④ ネットワークリーダー会議		418
目的	各学校における情報教育の推進及び校務支援システムの活用を図るとともに、校内情報の管理に関する研修や情報交換、連絡、調整を行います。		
内容	機器管理、情報管理、校務支援システム、情報モラル教育、ICT機器の活用、情報セキュリティ等について	期日	① 4月21日(水) ② 未定 ③ 3月3日(木)
		時間	15:00~16:50
講師	教育研究所指導主事 校務支援システム・情報モラル教育委託事業者	会場	① 大和市役所第1分庁舎 第2・3会議室 ② 未定 ③ 大和市役所第1分庁舎 第2・3会議室
対象	ネットワークリーダー 各校1名	申込	不要
備考		問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213

事業名	⑩ ICT活用推進会議		419
目的	ICTの利活用を推進し、全児童生徒の学びの質の向上が図られるよう、各校の授業での活用実践例を持ち寄り情報共有を行うほか、課題の対応策等についての意見交換を行う。		
内容	ICT活用推進教諭の役割の確認、令和3年度のChromebook活用における目標、情報活用能力の体系表、校内組織の構築・運用、ICT活用推進支援チーム、実践事例の共有、Q&Aデータベース、中学校区を軸とした3ブロック別の情報交換会等について	期日	① 5月12日(水) ② 7月～11月 ③ 12月頃
		時間	未定
講師	教育研究所・指導室 指導主事	会場	① 未定 ② リモート ③ 未定
対象	ICT活用推進教諭(各小中学校1名)	申込	不要
備考	指導室と共催	問合せ先	教育研究所 Tel)046-260-5213

事業名	⑩ 新任国際教育担当者会		420
目的	新任の国際教育担当者に向け、国際教育の内容の充実や担当職員の資質の向上を図ります。		
内容	外国につながる児童生徒の学習支援、国際教室の運営等に関する情報提供と情報交換	期日	4月13日(火)
		時間	13:30～14:15
講師	担当指導主事、日本語指導アドバイザー、日本語指導巡回教員	会場	渋谷学習センター
対象	新任国際教育担当者・希望者・日本語指導に関心のある人	申込	4月7日(水)まで
備考	同日に国際教育担当者会を開催	問合せ先	指導室 Tel)046-260-5210

事業名	⑩ 日本語指導養成講座		421
目的	外国につながる児童生徒への日本語指導力向上を目指します。		
内容	日本語教育アドバイザーや教員、地域の外国人支援団体等を講師に招き、日本語指導力向上を目的に研修を行います。また、外国につながる児童生徒の学習支援、国際教室運営等に関する情報交換を行います。	期日	8月3日(火) 8月4日(水) 8月5日(木) 8月6日(金)
		時間	13:30～16:30
講師	日本語指導アドバイザー、日本語指導員等	会場	市民交流拠点ポラリス
対象	新任国際教育担当者・希望者・日本語指導に関心のある人	申込	7月30日(金)まで
備考		問合せ先	指導室 Tel)046-260-5210

事業名	⑩ 通級指導教室担当者会		422
目的	通級指導教室の情報交換や関係機関からの情報提供を行い、担当教員の資質の向上を図ります。		
内容	通級指導教室の担当者同士での情報交換や関係機関からの情報提供を行います。	期日	7月9日(金)
		時間	9:30～11:30
講師	教育委員会指導主事	会場	特別支援教育センター
対象	通級指導教室教員(ことばの教室、はぐくみの教室)	申込	4月14日(水)まで
備考		問合せ先	特別支援教育センター Tel)046-273-8351

(5) 研究発表会

事業名	⑩ ⑪ 研究推進校発表会		501
目的	指導室・研究所の指定する教育課題についての実践研究について、その成果を発表し、本市の教育活動の充実を図ります。		
内容	【教育課題研究推進校・下福田中学校】(3年次本発表) 生徒とともに創る主体的な「学び」の場	期日	11月2日(火)
内容	【教育課題研究推進校・大和小学校】(2年次中間発表) 語彙力を生かし、学びを深める授業づくり	期日	1月26日(水)
内容	【教育の情報化推進校・未定】(1年次授業公開(未定))		未定

事業名	⑫ 教育研究所 研究発表会		502
目的	教育研究所で行った調査研究の概要を発表し、その成果を本市教育に反映します。		
内容	調査研究成果の発表 ・教育の情報化に関する調査研究部会(研究紀要) ・教育意識に関する調査研究部会(研究紀要)	期日	8月20日(金)
発表者	教育研究所研究員	時間	13:30~14:50
対象	教育研究所研究員及び希望者・保護者・市民	会場	渋谷学習センター
備考	503 実践力向上研修発表大会と合わせて受講した場合のみ △初任者選択講座対象[課題解決力] △5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[課題解決力]	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213

事業名	⑬ 実践力向上研修部会発表会		503
目的	実践力向上研修部会で行った研究、研修の概要を発表し、その成果を本市教育に反映します。		
内容	学力向上に関する発表(学力向上部会) 特別支援教育に関する発表(特別支援教育部会) 不登校に関する発表(不登校部会) 防災教育に関する発表(今日的教育課題部会)	期日	8月20日(金)
発表者	実践力向上研修部会研修員	時間	15:00~16:50
対象	実践力向上研修部員及び希望者・保護者・市民	会場	渋谷学習センター
備考	502 教育研究所研究発表大会と合わせて受講した場合のみ △初任者選択講座対象[課題解決力] △5・中堅・15・25年経験者選択講座対象[課題解決力]	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213

(6) その他

事業名	⑭ 情報教育研修講座【訪問研修】		601
目的	ICTスキルを高めるための研修を、希望校を研修会場にして行い、学校教育の情報化を推進します。		
内容	【訪問研修】 各学校を会場にした研修を要請により開催する。 導入ソフトの活用・ICT機器の授業活用等	期日	7月~2月の随時
講師	教育研究所担当指導主事 インストラクター	時間	1~3時間
対象	教職員(各学校における研修会)	会場	各小中学校
備考	最小開催人数1名	申込	別途募集(随時)
	問合せ先	教育研究所 TEL)046-260-5213	

事業名	青指 いじめ不登校を考える教育フォーラム		602
目的	「大和市学校教育基本計画」の重点施策である「不登校やいじめ問題の解消」についての啓発、及び市民・保護者等との意見交換をします。		
内容	・いじめ・暴力行為等防止ポスター表彰式 ・講演「(仮)これからの不登校へのかかり方」	期日	1月22日(土)
講師	未定	時間	午後
対象	市民・保護者・教職員	会場	渋谷学習センター
備考	校長研修を兼ねる	申込	後日連絡
	問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036	

事業名	指 大和市子ども読書フェスティバル		603
目的	コンクールの表彰とともに、学校司書を中心として読書の楽しさを実感できるイベントを行います。		
内容	・大和市子ども読書感想文コンクール表彰式 ・図書館を使った調べる学習コンクール表彰式 ・ステージでの朗読会	期日	11月20日(土)
講師	浜千鳥	時間	13:00~16:30
対象	市民対象 学校司書(研修・勤務扱い)	会場	大和市文化創造拠点シリウス サブホール他
備考	教職員の参加は有志参加	申込	なし
	問合せ先	指導室 Tel)046-260-5210	

事業名	青 青少年健全育成講演会		604
目的	「青少年の非行・被害防止全国強調月間」にあわせて開催し、青少年健全育成への理解を深めます。		
内容	心の発達と健康 ~子どもの心に寄り添うために~	期日	7月3日(土)
講師	メンタルクリニック医師 鈴木 泰代 氏	時間	10:00~12:00
対象	市民・保護者・青少年育成団体・教職員	会場	保健福祉センター ホール
備考		申込	前日までに電話・FAX
	問合せ先	青少年相談室 Tel)046-260-5036	

事業名	研 教育講演会		605
目的	教職員・保護者・市民が教育について共に学び、地域・家庭との連携を深めます。		
内容	大人も子どもも知っておきたい!ネット社会の上手な歩き方	期日	11月12日(金)
講師	聖心女子大学 非常勤講師 榎本 竜二	時間	15:00~16:50
対象	希望者・保護者・市民	会場	保健福祉センター(仮)
備考		申込	5月7日(金)まで
	問合せ先	教育研究所 Tel)046-260-5213	

事業名	指 English Day		606
目的	授業で学んだ英語を活かしたコミュニケーション活動を通して、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てます。		
内容	英語でのコミュニケーション活動	期日	7月31日(土)
講師		時間	10:00~12:00(第1部) 14:00~16:00(第2部)
対象	大和市立小学校5・6年生	会場	保健福祉センターホール
備考		申込	未定
	問合せ先	指導室 Tel)046-260-5210	

寺子屋コーディネーター等の連絡会・研修会			
目的	各事業の実務・サービスについて連絡・情報交換を行い事業の充実を図ります。		
事業名	⑩ 寺子屋コーディネーター連絡会		607
会場	生涯学習センター	期日	① 4月 7日(水)
時間	10:30~12:00		② 5月12日(水)
講師	大和市教育委員会指導室		③ 6月 2日(水)
対象	寺子屋やまとコーディネーター 各校1名		④ 7月14日(水)
			⑤ 9月15日(水)
			⑥ 12月15日(水)
			⑦ 2月 9日(水)
			⑧ 3月 9日(水)
事業名	⑩ 寺子屋学習支援員連絡会		608
会場	生涯学習センター	期日	① 4月 1日(木)
時間	①14:00~16:00 ②14:30~16:30		② 6月16日(水)
講師	大和市教育委員会指導室		
対象	寺子屋やまと学習支援員		
事業名	⑩ 中学校学習支援コーディネーター・学習支援員連絡会		609
会場	生涯学習センター(①・③・④)、渋谷学習センター(②)	期日	① 4月 2日(金)
時間	15:00~17:00		② 5月21日(金)
講師	大和市教育委員会指導室		③ 9月16日(木)
対象	中学校学習支援コーディネーター 各校1名・①のみ 学習支援員 各1名		④ 2月24日(木)
事業名	⑩ 中学校学習支援少人数指導非常勤講師(英語・数学)連絡会		610
会場	生涯学習センター	期日	① 4月 1日(木)
時間	15:00~17:00		② 5月21日(金)
講師	大和市教育委員会指導室		③ 9月16日(木)
対象	中学校少人数非常勤講師 各校 英語1名 数学1名		④ 2月24日(木)
事業名	⑩ 学校司書連絡会		611
会場	①学校図書館 ②生涯学習センター ③学校図書館	期日	① 6月16日(水)
時間	14:30~16:30		② 10月1日(金)
講師	担当指導主事又は講師招聘 大和市学校図書館スーパーバイザー(SLS)		③ 1月19日(水)
対象	学校司書		※このほか4ブロックの 地域別学校司書連絡 会を予定
事業名	⑩ 新任学校司書研修会		612
会場	①生涯学習センター ②学校図書館	期日	① 4月1日(水)
時間	14:40~16:30 ②14:30~16:30		② 4月16日(金)
講師	①②大和市学校図書館スーパーバイザー(SLS)		
対象	R3年度 新任学校司書(※今年度限りR2年度採用学校司書を含む)		
事業名	⑩ 特別支援教育スクールアシスタント連絡会		613
会場	①特別支援教育センター ②特別支援教育センター	期日	① 4月7日(水)
時間	①10:00~12:00 ②13:30~15:30		② 6月16日(水)
講師	①教育委員会指導主事 ②はぐくみの教室教諭、教育委員会指導主事		
対象	①新任特別支援教育スクールアシスタント ②特別支援教育スクールアシスタント		

事業名	⑤ 特別支援教育ヘルパー連絡会		614
会場	①特別支援教育センター ②特別支援教育センター	期日	① 4月7日(水) ② 6月9日(水)
時間	①10:00~12:00 ②13:30~15:30		
講師	①教育委員会指導主事 ②教育委員会指導主事		
対象	①新任特別支援教育ヘルパー ②特別支援教育ヘルパー		
事業名	⑤ 放課後子ども教室アドバイザー連絡会		615
会場	生涯学習センター	期日	① 4月1日(木) ② 9月15日(水) ③ 12月15日(水)
時間	①14:30~16:50 ②、③10:30~12:00		
講師	大和市教育委員会指導室		
対象	放課後子ども教室チーフパートナー 各校 1名		
備考	寺子屋コーディネーター連絡会と同日開催 ①は辞令交付を兼ねる	問合せ先	指導室 Tel) 046-260-5210